

株主のみなさまへ

# 第101期 報告書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日



旭ダイヤモンド工業株式会社

証券コード：6140

## ごあいさつ

株主のみなさまにおかれましては、日頃より当社へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今の新型コロナウイルス感染拡大により、罹患された方々にお見舞い申し上げますとともに、社会的不安が広がり、景気に与える影響も懸念されておりますが、一日も早く感染が収束することを願っております。

ここに当社グループの第101期（2020年3月期）の営業概況をご報告し、中期経営計画と次期の見通しについてご説明させていただきます。ご一読を賜り、当社へのご理解を一層深めていただければ誠に幸いに存じます。

2020年6月

代表取締役社長 **片岡 和喜**



## 第101期の営業概況

当連結会計年度における国内経済は、米中貿易摩擦の影響、世界経済の減速もあり、輸出の減少が続くなど、景気低迷の状態となりました。世界経済においても、政治的・経済的な混迷により、製造業の業績が悪化する中、新型コロナウイルス感染症の拡大による各種制限により、経済への悪影響が現れ始めています。

このような状況の中、当社グループは積極的な販売活動と製品開発に注力してまいりましたが、売上構成比の高い電子・半導体業界において前年度から続く生産減の影響を受け、当年度は前期を下回る結果となりました。輸送機器業界、

機械業界向けの関連工具は、世界での自動車生産台数が前年割れするなど厳しい状況にあったことから両業界ともに前期を下回る結果となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、353億4百万円(前期比14.0%減)となりました。利益面におきましては、営業利益2億94百万円(前期比88.5%減)、経常利益5億91百万円(前期比81.0%減)となりました。また、第4四半期連結会計期間において千葉鶴舞工場に係る減損損失6億39百万円の特別損失を計上したことなどから、親会社株主に帰属する当期純損失は3億40百万円となりました。

期末配当は1株当たり6円を実施し、中間配当の同4円と合わせ、年間配当額は同10円となりました。

## 中期経営計画について

この度、「中期経営計画2022」の策定に当たり、経営理念のもと、10年後である2030年の当社のあるべき姿「VISION2030」を「『地域×業界』軸で戦略的な製品展開を行うグローバルダイヤモンド工具メーカー」とし、以下の3つの重点テーマを実行することにより成長基盤の確立を進めてまいります。

### ① 高度専門化する顧客ニーズへの一貫対応

営業・開発・製造の各部門が特定の業界や製品の軸のもとで一貫対応を行う必要があると考えています。すでに2020年4月から特定の業界・製品に絞って4つのプロジェクトチームが発足しております。

### ② グローバル展開の最適化と加速

「VISION2030」達成のためには、従来の総合メーカーとしての枠組みを維持しつつも、経営資源の集中分配を進める必要があります。当社の限られた経営資源を有効に活用するために、社外提携も柔軟に活用していきます。すでに、海外の競合メーカーとの業務提携を進めており、今後はM&Aを含めた施策を検討してまいります。

### ③ 経営インフラと管理体制の強化

先述したテーマを戦略的に進めるためには、足元を着実に固めておく必要があります。人財育成はもとより、今後も様々な手法を駆使して、あらゆる業界のお客様に幅広い製品を供給するためには、顧客管理データ・製品管理データを整えて収益管理を徹底する必要があります。また、今後更なる海外展開を円滑に進めるためには子会社を含めたガバナンス機能の強化が必須と考えております。収益基盤の維持向上を目指して課題を遂行いたします。

## 次期の見通し

次期につきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による経済活動の停止、さらに感染拡大の収束時期が不明であるため、厳しい状況が続くと思われ、その影響を加味した業績を見通すことは困難な状況にあります。各国ともに新型コロナウイルス感染症による業績低迷などへの経済対策を発表し、感染が収束した後に経済を回復させるべく、国際協調のもと各種経済対策が講じられていますが、その効果については、現時点では不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、経済状況が好転した際に速やかに需要に対応する体制を確保するため、生産拠点の整備を進めております。2020年7月には新工場が稼働を開始する予定であり、各生産拠点におきましても省力化を柱としたコスト改善を行ってまいります。開発拠点におきましては、市場や顧客のニーズに一早く対応するために拠点の集約を計画しております。一方、販売面では顧客ニーズへの一貫対応が可能となるよう体制整備を進めてまいります。さらに、海外におきましては、連結子会社である旭ヨーロッパの再建計画を策定し、欧州事業の再編を進めてまいります。

今後IoT、AI、5G等で需要が見込まれる半導体業界、電動化や自動運転に向けて新たな需要が見込まれる自動車業界、軸受業界向け製品の増拡販を進め、売上増に努力してまいります。

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 旭ダイヤモンドグループのビジネスフィールド

当社グループは、世の中に存在する最も硬い素材であるダイヤモンドおよびCBNを使用した工具を製造・販売しており、「切る」、「削る」、「磨く」、「穿つ」などといったものづくりの基本となる工程において、幅広い業界のお客様から高い信頼を得ております。

## 電子・半導体業界

Electronics and Semiconductor

高速通信用電子部品や車載用電子部品関連工具の販売は好調であったものの、半導体市場のメモリーの減産もあり、売上高は113億84百万円（前期比16.5%減）となりました。



売上構成比

32.2%



売上高

11,384百万円



売上高（単位：百万円）



## 輸送機器業界

Transportation

航空機業界では、ジェットエンジン部品加工用工具の販売が前期に比べ増加したものの、自動車業界では、国内及び米国生産が微減であり、中国、インドでも生産減となったことから、売上高は87億57百万円（前期比12.0%減）となりました。

売上構成比

24.8%



売上高

8,757百万円



売上高（単位：百万円）



## 機械業界

Machinery

軸受・工作機械・超硬工具業界では、自動車等の輸送機器や一般産業用の生産が大きく減少したことにより、売上高は89億74百万円（前期比14.6%減）となりました。

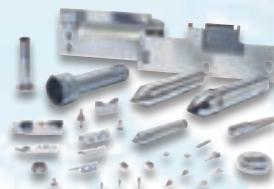


売上構成比

25.4%

売上高

8,974百万円



売上高（単位：百万円）



## 石材・建設業界

Stone and Construction

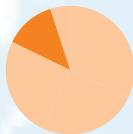
国内の建設業界では公共、民間ともに工事量の減少が続き、石材業界でも関連工具の販売も減少したことから売上高は45億4百万円（前期比12.7%減）となりました。

売上構成比

12.8%

売上高

4,504百万円



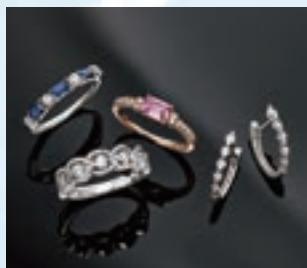
売上高（単位：百万円）



## その他

Other

大学、研究機関、窯業及び宝飾等上記以外の業種への売上高は16億83百万円（前期比6.3%減）となりました。

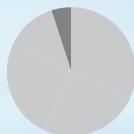


売上構成比

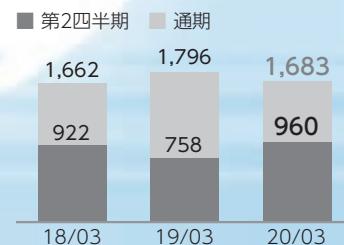
4.8%

売上高

1,683百万円



売上高（単位：百万円）



日本

(単位:百万円)

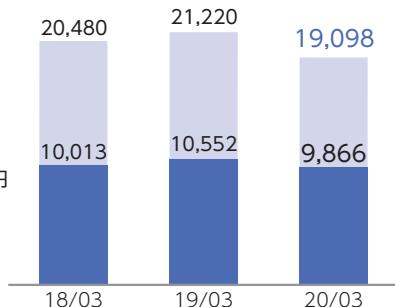
■第2四半期  
■通期

売上高

19,098百万円

売上構成比

54.1%



台湾

(単位:百万円)

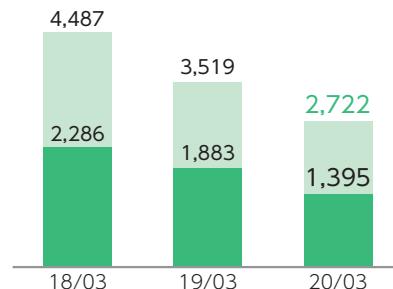
■第2四半期  
■通期

売上高

2,722百万円

売上構成比

7.7%



中国

(単位:百万円)

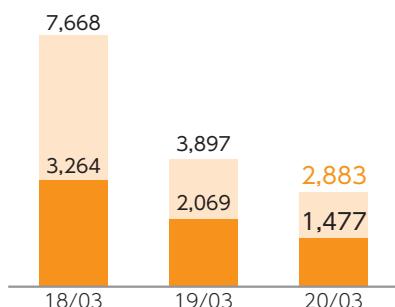
■第2四半期  
■通期

売上高

2,883百万円

売上構成比

8.2%



その他アジア・オセアニア

(単位:百万円)

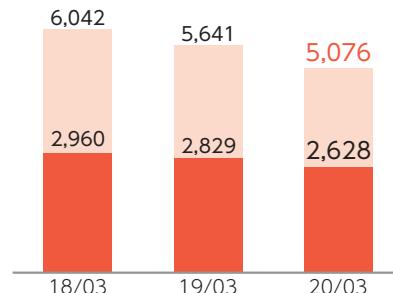
■第2四半期  
■通期

売上高

5,076百万円

売上構成比

14.4%



ヨーロッパ

(単位:百万円)

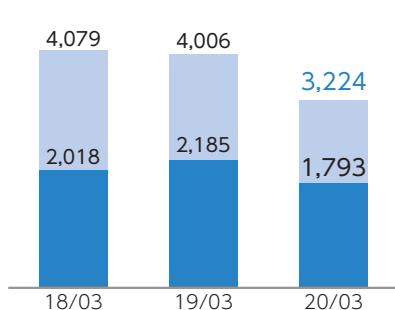
■第2四半期  
■通期

売上高

3,224百万円

売上構成比

9.1%



その他

(単位:百万円)

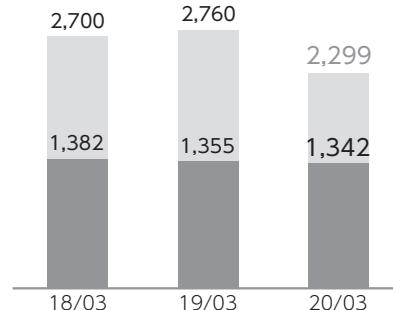
■第2四半期  
■通期

売上高

2,299百万円

売上構成比

6.5%



当期の  
業績のポイント

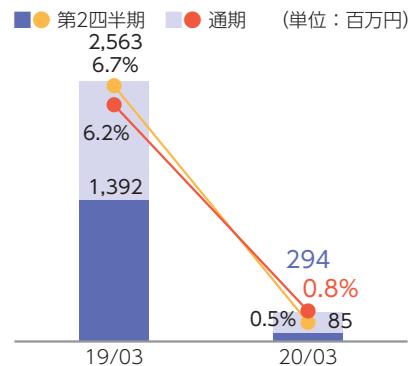
売上高  
経常利益  
親会社株主に帰属  
する当期純利益  
年間配当金

35,304百万円 (前期比 14.0% 減↓)  
591百万円 (前期比 81.0% 減↓)  
△340百万円 ( — )  
10円 (前期比 4円 減↓)

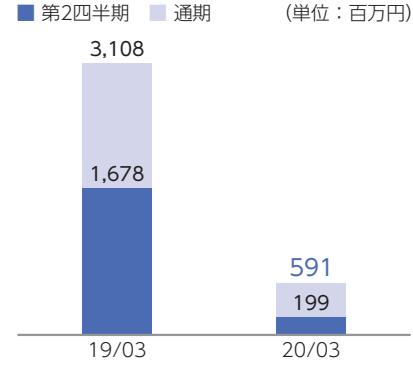
売上高



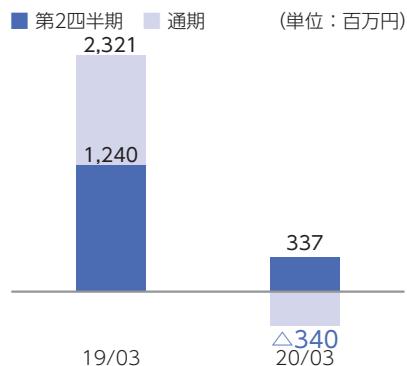
営業利益及び売上高営業利益率



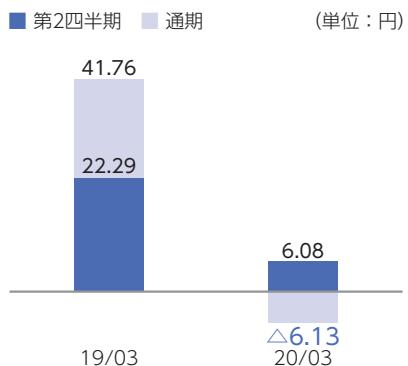
経常利益



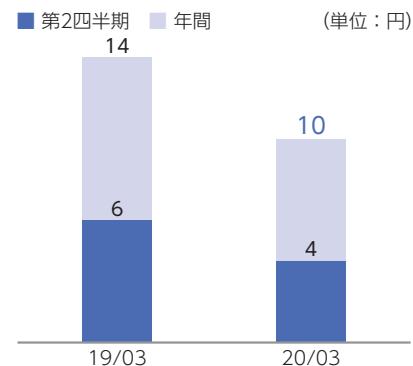
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



1株当たり当期(四半期)純利益



1株当たり配当金



## 「中期経営計画2022」を策定いたしました

当社は5月15日に中期経営計画を発表いたしました。2030年の当社のあるべき姿として「VISION2030」を掲げ、「『地域×業界』軸で戦略的な製品展開を行うグローバルダイヤモンド工具メーカー」を目指し、その第一段階として「中期経営計画2022」を策定いたしました。その重点テーマとして①高度専門化する顧客ニーズへの一貫対応②グローバル展開の最適化と加速③経営インフラと管理体制の強化を行ってまいります。



連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

	当期 2020.3.31	前期 2019.3.31
<b>資産の部</b>		
流動資産	32,762	35,012
固定資産	37,245	38,035
有形固定資産	23,644	21,576
無形固定資産	195	143
投資その他の資産	13,405	16,315
<b>資産合計</b>	<b>70,007</b>	<b>73,047</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	4,479	5,515
固定負債	8,694	8,504
<b>負債合計</b>	<b>13,174</b>	<b>14,019</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	54,404	55,443
資本金	4,102	4,102
資本剰余金	7,129	7,129
利益剰余金	43,323	44,367
自己株式	△ 150	△ 155
その他の包括利益累計額	1,107	2,299
その他有価証券評価差額金	1,450	2,505
土地再評価差額金	196	160
為替換算調整勘定	△ 496	△ 319
退職給付に係る調整累計額	△ 41	△ 46
非支配株主持分	1,321	1,285
<b>純資産合計</b>	<b>56,833</b>	<b>59,028</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>70,007</b>	<b>73,047</b>

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

	当期 2019.4.1 から 2020.3.31 まで	前期 2018.4.1 から 2019.3.31 まで
<b>売上高</b>	<b>35,304</b>	<b>41,046</b>
売上原価	27,086	30,184
売上総利益	8,218	10,861
販売費及び一般管理費	7,923	8,297
<b>営業利益</b>	<b>294</b>	<b>2,563</b>
営業外収益	399	565
営業外費用	101	20
<b>経常利益</b>	<b>591</b>	<b>3,108</b>
特別利益	582	195
特別損失	1,088	0
税金等調整前当期純利益	86	3,303
法人税等	373	850
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 287	2,452
非支配株主に帰属する当期純利益	52	130
<b>親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)</b>	<b>△ 340</b>	<b>2,321</b>

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

	当期 2019.4.1 から 2020.3.31 まで	前期 2018.4.1 から 2019.3.31 まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,805	4,449
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,990	△ 5,144
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 732	△ 914
現金及び現金同等物に係る換算差額	54	△ 310
現金及び現金同等物の増減額	△ 863	△ 1,920
現金及び現金同等物の期首残高	16,548	18,468
現金及び現金同等物の期末残高	15,685	16,548

詳しい決算情報は当社IR情報をご覧ください。 → <https://www.asahidia.co.jp/ir/>

旭ダイヤ IR

## 株式の状況

発行可能株式総数 190,300,000株  
 発行済株式の総数 55,700,000株  
 株主数 13,721名

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,298	7.71
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,703	4.85
旭ダイヤモンド社員持株会	1,590	2.85
株式会社三菱UFJ銀行	1,384	2.48
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,364	2.44
ユニオンツール株式会社	1,310	2.35
三井住友信託銀行株式会社	1,270	2.28
旭ダイヤ共栄持株会	1,121	2.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,052	1.89
日本生命保険相互会社	1,039	1.86

(注)1. 持株比率の計算は、自己株式8,337株を除いて計算しております。

(注)2. 持株数については、表示単位未満の端数を切り捨て、持株比率については四捨五入して表示しております。

## 株価・出来高推移

(単位：円)

2,000

1,500

1,000

500

0

2017

2018

2019

2020

(単位：千株)

100,000

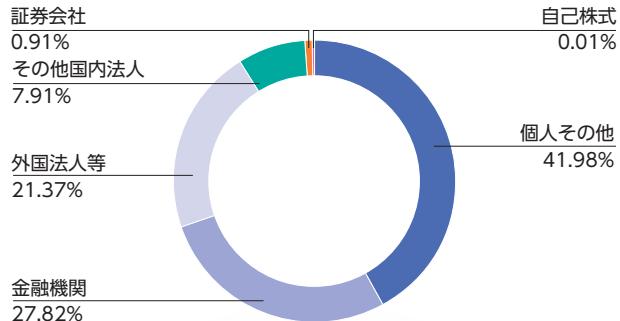
75,000

50,000

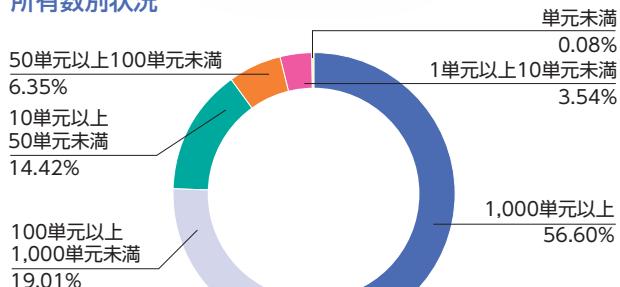
25,000

0

## 所有者別状況



## 所有数別状況



## 会社概要

商号 旭ダイヤモンド工業株式会社  
 英文社名 Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.  
 本社所在地 東京都千代田区紀尾井町4番1号  
 設立年月日 1937年10月9日  
 資本金 4,102,188,450円  
 従業員数 1,019名 (連結 2,139名)

## 役員 (2020年6月25日現在)

### 取締役

代表取締役社長	片岡 和喜
代表取締役常務	粉川 和勇
常務取締役	藍 敏雄
取締役	谷口 和昭
取締役	萩原 利昌
取締役	阿部 英夫
取締役	原 智彦
社外取締役	小山 修
社外取締役	永田 新一

### 監査役

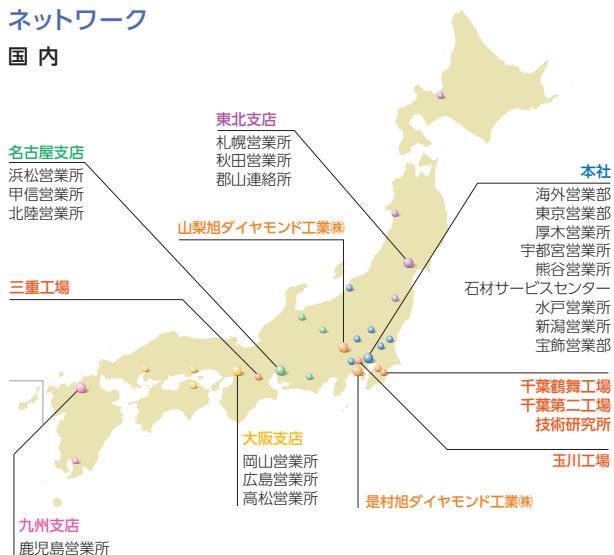
常勤監査役	香山 盛夫
社外監査役	大高 由紀夫
社外監査役	川嶋 誠人

### 執行役員

常務執行役員	大河内 孝夫
常務執行役員	滝口 明
執行役員	井元 修三
執行役員	望月 政司
執行役員	松田 順一
執行役員	松川 英樹
執行役員	小浦 雅美
執行役員	佐藤 公一
執行役員	澤田 穰
執行役員	日下部 均

## ネットワーク

### 国内



### 海外



## 株主メモ

決算と配当金のお支払	毎年3月31日を決算期とし、年1回の決算を行います。配当金は毎決算期現在(中間配当をする場合は毎年9月30日現在)の最終の株主名簿に記録された株主又は登録質権者に対し、ご指定の方法によりお支払いいたします。
定時株主総会	毎年6月下旬に開催いたします。
定時株主総会の基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。(https://www.asahidia.co.jp/)但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



### WEBサイトのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報、ジュエリーの情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



URL : <https://www.asahidia.co.jp/>



Asahi Diamond Industrial Co., Ltd.

